

特集

看護学において若手研究者をどう育てるか? (Ⅱ)

若手研究者育成の歴史を紐解く

—日本学術会議若手アカデミーの他領域を含む活動と看護界の展望 西村ユミ

日本看護科学学会研究・学術情報委員会平成 24 年度若手調査の概要と結果から 深堀浩樹

【座談会】

若手研究者が考えていること—“看護学”から何を創造するか?

落合亮太, 佐藤一樹, 坂井志織, 濱吉美穂 (ファシリテーター) 西村ユミ

〈座談会を聞いて〉 吉沢豊予子

●連載

統計学のキーポイント—「検定」に焦点を当てて・2 高木廣文

質的研究の前提と正当性・8 (最終回) 家高洋

Words, words, words. 研究にまつわる知識と技法・14 江藤裕之

編集後記

●私は『イリアス・オディッセイア』『アエネイス』, また『オイディプス王』をはじめとするギリシア悲劇などかなり古典的な作品が好きで, 特にこれらは繰り返し読みました。江藤氏の連載にある, いわゆる私家版「グレート・ブックス」でしょうか。いずれの作品も, 運命に翻弄され, それに抗おうとする人間の生々流転が描かれ, 時代や国を超えた普遍性をもっています。ドストエフスキーの作品のように, そこにはまさに「人間」がいて, もはや虚構を超えた真実といえるのかもしれませんが。家高氏のコラムの, 最後の3節は胸に響くものがありました。研究は虚構ではありませんが, 研究から明らかになる人間1人ひとりの姿には, いまなお見いだされるのを待っているような可能性や謎がまだまだ秘められているように感じます。これからの若手研究者によって, 看護学/看護研究がどのような未来を拓いていくのかを楽しみにしつつ, 今年1年も, どうぞよろしくお願いいたします。(小長谷)

看護研究 第47巻 第1号(通巻250号) 2014年2月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行: 株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2014, Printed in Japan

販売部 (03) 3817-5659 社内案内 (03) 3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>『看護研究』編集室: (03) 3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当/小長谷・早田

1部定価1,800円+税

2014年年間購読料(税込, 送料弊社負担, 増刊号を含む年7冊): 冊子版12,860円 冊子+電子版/個人

15,860円 冊子+電子版/共有17,800円 電子版/個人12,860円 電子版/共有14,800円

〈学割年間購読料〉冊子版10,290円 冊子+電子版/個人13,290円 電子版/個人10,290円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY (社) 出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問(五十音順)

小島操子

聖隷クリストファー大学・教授(学長)

中島紀恵子

新潟県立看護大学・名誉教授

中西睦子

国際医療福祉大学・教授(看護学科長)

前原澄子

京都橘大学看護教育研修センター・所長

南 裕子

高知県立大学・学長

●編集協力者

阿曾洋子/荒川靖子

井部俊子/蝦名美智子

太田喜久子/岡谷恵子

片田範子/金井Pak 雅子

上泉和子/川口孝泰

河口てる子/川村佐和子

黒田裕子/高橋泰子

近田敬子/筒井真優美

水流聡子/野嶋佑由美

早川和生/舟島なをみ

村嶋幸代/森 恵美

安酸史子/山本あい子

横尾京子